



1 中国の巨大一枚岩をくりぬいた「薬師の湯」。湯に浸かりながら、眼下に広がる別府の夜景の輝きに癒える。夜には端正な貸切湯となる
 2 モダンなしつらえの「月ノ想」の客室はDVD付き。2層それぞれテラスを備えたメゾネットタイプもある
 3 「月ノ想」の男女別露天はウッドテラスになっている。湯は内湯も源泉そのままを掛け流しで使用している

「別府八湯」のひとつに数えられる観海寺温泉。奈良時代に開かれたと伝わる古湯は急峻な坂を登った高台にある。その薬師堂に湧く神秘的な名湯を汲みに来る人々は、平成のいまも後を絶たない。

その奥に昭和元年創業の「旅亭松葉屋」はある。一昨年末にオープンした新館『月ノ想』のエントランスを入ると、硝子の外のみずみずしい木立とともに、「別府石」と記された石積み壁の存在感が印象的だ。設計を担当した井上輝美は、繁華な別府にありながら険しい坂に隔てられたかのようなかの旅荘の立地に着目。そこだけで完結した癒しの小宇宙ともいふべき、「葉籠りの楽園」をここに実現しようと発想した。それは三代目女将・吉武淑子が想う「癒し」とも重なったのだ。古くからの泉都・別府の街並みの記号として石積み置き、4つの貸切湯がある本館との間を連結する斜面を美しい幻想の森へと変容させた。

客室のテラスには、露天風呂に続いてチェアを置く。眼下に広がる別府の街の向こう、月の明かりを受けて、別府湾は清澄に照り輝いていた。

大分県 別府観海寺温泉

旅亭 松葉屋 月ノ想

住所：大分県別府市観海寺3 TEL：0977・22・4271

料金：[本館「丘ノ想」] 1泊2食1人¥16,800～、
 [新館「月ノ想」] 1泊2食1人¥25,000～（1室2名利用時）

CHECK IN：3:00PM OUT：10:00AM

交通アクセス：JR久大本線別府駅より車7分/大分自動車道別府ICより5分

温泉郷のさざめきからも遠く隔てられた、
 清々しい月光に守られたサンクチュアリ。